

# どうなる? 区の再編!

急速に進む人口減少や少子高齢化などにより、社会環境が激変し、行政サービスの根幹となる税収入も減少していきます。将来にわたって浜松市が必要なサービスを提供していくために行政運営体制の見直しが必要です。

未来の浜松市を持続可能なものとするため  
区の再編の協議を進めています。

## なぜ?

行政区再編が必要なのか

- ①人口減少、少子高齢化のさらなる進行
- ②激変する社会経済状況や市民ニーズへの対応
- ③デジタル化の急速な進展

行政運営体制の見直し

- ・管理職削減を中心とした人件費カット
- ・事務の集約化によるスケールメリット

市民サービス  
継続のための  
財源確保

## 天竜区を「単独区」に決定。区割り案たたき台を3案に絞り込み

令和3年8月31日の行財政改革・大都市制度調査特別委員会で天竜区の取扱いを単独区と決めたことで、区割り案たたき台\*も6案から3案に絞られました。

\*区割り案たたき台とは、再編後における最適な区のあり方を考える上での議論のたたき台として選択したものであり、ここに示す3つの案の中から最終的な案が決定するものではありません。なお、区割り案(最終案1案)は12月7日(火)の特別委員会で内定する予定です。

### 2区案

人口 2.7万人  
面積 944km<sup>2</sup>

### 3区案

人口 2.7万人  
面積 944km<sup>2</sup>

人口 15.6万人  
面積 363km<sup>2</sup>

### 4区案

人口 2.7万人  
面積 944km<sup>2</sup>

人口 16.7万人  
面積 393km<sup>2</sup>

人口 39.5万人  
面積 111km<sup>2</sup>

人口 20.9万人  
面積 109km<sup>2</sup>

\*数字は切り捨てして掲載しています。

## 中間報告でのご意見・ご要望など

行政区再編の協議の主な経緯を各区自治会連合会、各区協議会に説明し、多くのご意見・ご要望をいただきましたので紹介します。

中間報告の様子



### 協働センターについて

**Q** 協働センターを機能強化するということが、具体的にどのような内容か?

**A** コミュニティ担当の正規職員を1人増員し、これまで以上にコミュニティ支援に軸足を置いて、地域の声を広く拾い上げます。

### 区役所が遠くなることについて

**Q** 区域が広がって、区役所が遠くなることは行政サービスの低下にならないか?

**A** 区役所でなくても行政センターとして区役所と同等の窓口サービスを提供します。また、オンラインでの行政手続やタブレット等を活用したりモートの相談など、区役所などへ出向かずにサービスをご利用いただく手法や職員が出向く手法についても検討していきます。

### 削減効果額について

**Q** 区の再編の大きな目的は行財政改革だと思うが、どの程度の効果が生まれるのか?

**A** 2区案の場合は約8億円、3区案の場合は約6億円、4区案の場合は約5億円の削減効果額が見込まれます。捻出された財源は、協働センターの機能強化をはじめ、市民サービス向上や社会経済情勢の変化に対応した事業などへ活用します。

### その他のご意見ご要望

- 天竜区は中山間地の地域特性を考慮し、単独区として残す決定は評価する。
- 区再編とともに議員定数の見直しも考えてもらいたい。
- 様々な行政手続が最寄りの協働センターでまかなえるということをしっかりと住民に伝えて欲しい。
- 再編すると都心部へサービスが集中しないか心配である。周辺地域へもインフラ整備等の投資を。
- 将来の浜松を見据え、市民に遺恨が残らぬよう進めてほしい。

## 今後のスケジュールについて

区設置等の条例の議決は令和5年2月定例会とすることを決定しました。

令和3年  
12月7日

●区割り案内定  
(最終案1案)

令和4年  
1~2月

- 7区自治会連合会・7区協議会での意見聴取
- 市民からの意見聴取(パブリックコメント)

令和4年  
5月

●区割り案決定

令和4年  
6~10月

- 行政区画等審議会への諮問・答申
- 区名募集等

令和4年  
11~12月

●7区協議会への諮問・答申

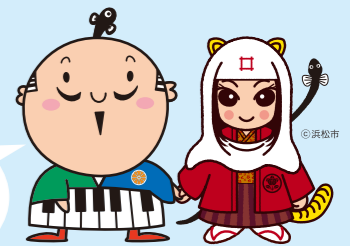
令和5年  
2月

●区設置等条例議決

令和  
6年

●新区へ移行

1月に実施予定の  
パブリックコメントに  
ご意見を  
お寄せください!



出生大名  
家康くん

出生法師  
直虎ちゃん

紙面に関するお問い合わせ

浜松市 議会事務局 調査法制課

TEL.053-457-2513

●特別委員会等での協議内容の詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

浜松市ホームページ

区制度の検討

検索

区制度の検討についての  
協議の経過

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gikai/gyouseikusaihen.html>



# 区再編協議の道のり!

区の再編については、これまで市議会行財政改革・大都市制度調査特別委員会で議論を重ねるとともに、区自治会連合会等を対象に経過報告を行ってきました。区の再編に関する住民投票以降の市議会での協議経過については、次のとおりです。

**数字で見る道のり!**

- 委員会開催回数 **38回**
- 総時間数 **67時間14分**
- 総資料ページ数 **1,339ページ**  
(令和元年5月30日～令和3年9月24日)

協議に参加した委員



## 行政区再編の議論を再開

**解説**  
平成31年4月7日の「浜松市 区の再編に関する住民投票」の結果を踏まえ、区再編に関する議論を再開しました。

**解説**  
議論を前に進めるため、当局から現在の天竜区エリアを北遠地域、その他のエリアを西遠地域とする2区案が提示されました。

**解説**  
自由民主党浜松から今後の協議に向けた行政区再編協議の行程(案)の提案があり、委員会としてそれを認め、委員間討議による協議をスタートしました。

- 行程1** 合併から現在までを確認
- 行程2** 区のあり方について協議
- 行程3** 区再編について協議 (再編が必要・不要の結論を速くとも令和2年12月末までに決定)
- 行程4** 具体的区再編案の作成

●住民投票結果の分析  
●区制度の検討

令和元年 5/30  
令和元年 7/1 (日付は委員会開催日)  
令和元年 8/1  
令和元年 8/16  
令和元年 9/26  
令和元年 11/19

令和元年 12/18  
当局から天竜区を単独区とする2区案の提示

令和2年 2/14  
行政区再編協議の行程(案)を承認



**解説**  
過疎化や高齢化が進む天竜区は、社会インフラや医療基盤が脆弱であり、災害の発生確率も高いことから、行政による特別な支援が必要と判断し、単独区とすることを決定。たたき台は6案から3案になりました。



令和3年 8/31  
天竜区を単独区とすることを決定

令和3年 9/8

**中間報告**  
内容は次ページへ

令和3年 9/15~10/14  
協議の経緯説明  
●各区自治会連合会  
●各区協議会

※中間報告の説明動画を見ることができます

**解説**  
当局提案の「区再編における市民サービス、住民自治の基本的な考え方」について、特別委員会では、160件を超える指摘事項を示すなどして認定作業を進めた結果、区再編後も住民サービスは低下することなく維持され、住民自治の仕組みも強化していくことを確認しました。

令和3年 4/2~4/28  
協議の経緯説明  
●各区自治会連合会  
●各区協議会

令和3年 3/19  
たたき台6案の決定

令和3年 2/26  
たたき台13案の提案

**解説**  
再編後における最適な区の在り方を考えるため、たたき台として、現在の天竜区を単独とする2~4区案と天竜区を他区と複合する2~4区案の計6案を決定しました。



**解説**  
行政区再編の必要性について、全議員による無記名投票を実施し、再編することを決定しました。  
[投票結果]再編が必要:38票 不必要:4票  
※棄権4人

令和2年 9/28  
全員協議会で行政区再編は必要と決定

令和2年 10/26~11/27  
協議の経緯説明  
●各区自治会連合会  
●各区協議会

令和2年 12/22  
令和2年 11/18



行程4

行程3

行程2

行程1

令和3年 9/24